

## はじめに

2011年5月21日に大阪府岸和田市内にて、第一回「全国コットンサミット in 岸和田」が開催されました。本報告書は、その活動記録です。

綿花栽培、綿織り、綿製品づくりなど全国津々浦々で盛んになってきています。それら担い手は、住民、民間企業、NPO法人、さらには自治体など様々です。それら多くの活動現場を拝見した私は、その情熱と活動力に感動せずにはいられませんでした。みなさんの活動をもっともっと応援したいという気持ちが溢れ、綿から紡績をお手伝いさせていただいております。

本報告書は綿花栽培が盛んになりつつある今の時代を鮮やかに記録するもの（アーカイブ）であり、これが現代の人々の暮らしや文化、価値観、さらには未来の人々の生活に何らかの影響を与えていくに違いありません。

全国コットンサミットに集い、語り、一緒に杯を交わした仲間たちが、全国にコットンの夢を咲かせ、日本国民に豊かな生活を再考してもらおう大きな第一歩となることを切望しております。

この取り組みの中、3月11日に東日本大震災が発生し、未曾有の津波で多くの方々甚大な被害を受けました。「我々綿花栽培、繊維産業に関わる者が何か支援できることがないか」も話題になり、塩害にあった田畑の除塩のために綿花栽培に取り組むことを決め、サミットの宣言文にも盛り込みました。

6月にはサミットのメンバーも宮城県の名取市、仙台市の荒浜地区に駆けつけ種まき作業などに参加しました。この取り組みは、多くの企業や団体の賛同を得て「東北コットンプロジェクト」として大きく発展してきました。今後どのように発展できるか、まだ未知数ですが、東北の農家の方々への支援は続きます。

今年は戦後日本で最も多く綿花栽培が行われる年になるでしょう。「木綿再生元年」と言えるかもしれません。これからもコットンとともに、地域の産業や文化を愛しながら歩んでいきましょう。

実行委員会 会長 近藤健一